

7月2日の記者会見における弊社杉山の発言内容の訂正について

三菱電機株式会社は、7月2日に開催しました、鉄道車両用空調装置等の不適切検査に関する記者会見において、執行役社長 杉山武史の発言に、一部誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

会見の場において、杉山から、6月29日開催の第150回定時株主総会で当該問題を株主の皆さまへご説明しなかった理由について、「情報不足の中で公表することは望ましくないとの執行役の判断を、株主総会の前日に取締役会に諮り了承を得たので、公表しなかった」旨の発言をいたしました。6月28日に取締役会は開催されておらず、本件についても協議しておりません。

情報不足の中でご説明することは望ましくないということを取締役には個別に説明した上で、執行役の判断で公表を控えたことをお伝えしたものです。

事実と異なる発言により、報道機関の方々をはじめ関係者の皆さまへご迷惑をおかけいたしますことを、お詫び申し上げます。

なお、株主の皆さまとの重要な対話機会である株主総会において、十分な情報開示ができなかったことを反省し、お詫び申し上げます。今後、適時適切な情報開示に努めてまいります。

【該当箇所】

- Q. 6月29日開催の株主総会で本件を公表すべきだったのではとの意見もあるが、どういう経緯によるものか。
- A. 6月14日に発覚して社内調査に入りました。色んな問題がわかってきたわけですが、実は圧縮機の問題は6月28日に発覚し、状況が全くわからない状態で6月29日10:00の株主総会を迎えました。前日の28日にも、取締役会の皆さんにもお諮りした上で、この問題をどう扱うのかという風に話した訳ですが、結果として不十分な状態で株主総会でお話することは逆に株主の皆さんに不安感を与えることになり、相応しくないだろうという結論の中で、速やかに調査をして広報しようと、結果として翌日の30日になりました。ただ、ご指摘あったように会社として状況が把握してない状態でも、株主総会という年に1回の株主の皆さまとの対話機会で、そういう情報をお出しできなかったことは、私としても反省すべき点があると思っておりますので、今後の株主の皆さまとの対話の中でどうやるのが相応しいのか議論を尽くしながら、改善を図ってまいりたいと思います。
- Q. 株主総会の前日の取締役会で議論したという話なので、公表すべきだったというのは取締役会全体の責任と解釈しているがどうか？
- A. 公表するかどうかというのは、最終的に取締役会の中でもご理解をいただいて、そういう形にしておりますので、ご指摘のとおりしっかりと情報をわかりやすい形で提供すべきだったというのはご指摘のとおりかと思えます。